

# 校内研究だより

NO. 6

川崎市立上丸子小学校校内研究ワーキング 令和2年 1月30日

第6回校内授業研究（算数）の様子についてお知らせいたします。

## 1年生「くらべかた」

1組「水のかさは、どうしたらくらべられるかな」

他の入れ物にうつしかえて  
みよう。

もう一つ同じ  
入れものがあるよ

どちらの入れ物に水を多く入れられるか、実際に水をうつしかえる作業をグループで協力して行いました。いろいろな方法を試しながら、よりよい方法を考え、問題解決に向かいました。

2組「どれだけちがうかは、どうやったらあらわせるかな」

ふでばこを重ねて  
みよう。

えんぴつも  
つかえるよ

6年生の机の高さが自分たちの机よりどれだけ長いのかを、身の回りにあるものを使って調べました。解決のために考えた方法を使って友達と協力しあって調べることで、それぞれの考えをつなげながら学習しました。

4組「かさねてもわからないときのひろさは、どうやってくらべたらいいのかな」

どっちがひろい  
のかな。

ブロックを置いて  
みよう。

見た目だけでは分からない面積について調べました。直接比べられるように形を変えたり、ブロックをならべたりしながら、友達の比べ方のよさに気づきながら学習しました。

「長さ」「かさ」「広さ」について実際に身の回りの身近なものを使って計測して、主体的に学習に取り組みました。この学習単元を通して、ならべる・重ねる・いくつ分かを調べるなど、問題を解決する方法を必要に応じて使う力が身に付きました。協力して考えを出し合いながら活動することで対話が生まれ、自分で考えたことと友達が考えたことをつないで、思考を深める学習になりました。

## 2年生「はこの形」

2組「はこができるには、面をどうつないだらよいのだろう」

そのつなぎ方だと箱にならないよ。

面の向きを変えると、箱になるよ。

箱の形はどうやったら作れるかを展開図から考えました。箱の形になるように実際に紙を手で動かしたり、箱の形にならない展開図がどうしたら箱の形になるか考えたりしました。子ども同士が自然と対話をしながら学習に取り組んでいました。

4組「ならったことをつかって、お道具箱に入るはこを作ろう」

同じ長さの辺をつなげよう。

向かい合う面は、同じ大きさだね。

これまでに学習したことを生かして、長方形の厚紙を使ってお道具箱に入る箱を作りました。自分が欲しい大きさの箱を作るために、どんな大きさの面が何枚必要か考えながら取り組み、学習したことが生活で生かせることを実感していました。

日常でよく見かける「箱」について、具体物を手で動かしたり考えたりしながら意欲をもって学習に取り組みました。この学習単位を通して、箱の形を全体的に捉える見方から発展し、箱の形の部分に着目する見方を身に付けることができました。今後も、生活の中での場面や他の教科でも、学習したことが生かされることを実感できるようにしていきます。

次回の授業研究は1月31日（金）

3年生と4年生です。